

2025～26年度クラブ会報 第14号 2025年11月6日発行

2025年10月8日(水)第2524回 例会報告

「株式会社クラウド工業の歩み」
倉内 哲 職業奉仕委員長



10月15日プログラム

卓話 / ポリオ撲滅に向けて

坂元 洋幸 公共イメージ委員

10月22日プログラム

ガバナー訪問準備例会

2025～26年度国際ロータリー会長テーマ
Unite for Good

一よいことのために手を取り合おう

RI会長 フランチェスコ・アレツツォ氏 (イタリア、ラグーザRO)

2025～26年度東京武蔵村山ロータリークラブテーマ

『互いに学び行動し、ロータリーを楽しもう』

第54代会長 宮崎 正巳

・進行 後藤 正次 会場運営委員



・点 鐘 宮崎 正巳 会長



・斉 唱 「奉仕の理想」

ソングリーダー：田代 和也 会員



・来客紹介

○東京青梅ロータリークラブ

・芳野 隆宣様(よしの たかのぶ)(パスト会長)

・神尾 律彦様(かみお のりひこ)



芳野 隆宣様

みなさん、こんにちは。
会の貴重なお時間をいただきありがとうございます。
この例会場は、私がガバナー補佐の時以来、5年ぶりに来まして、とても懐かしいです。
特に印象に残っているのは、去年のIM(インターシティミーティング)の盛り上がりです。
皆さんが団結してお見送りをされる姿がとても感動的で、まとまりを感じました。
さらに、武蔵村山クラブが初めて「居酒屋例会」を立ち上げたと言いました。
ベテラン会員の皆さんもWebで参加されているとのことで、素晴らしい取り組みです。
来年度もどうぞよろしくお願いいたします。

神尾 律彦様

皆さんこんにちは。
東京青梅ロータリークラブの神尾と申します。
次年度より、吉野補佐エレクトと共に活動いたします。
私は同じ多摩分区ではありますが、武蔵村山クラブの例会場に伺うのは初めてです。
去年は幹事を務め、多摩グループの皆さんと汗をかきましたが、例会場に伺えなかったのが、本日は新鮮な気持ちで参加しております。
本日は一日よろしくお願いいたします。

・出席報告 比留間 康浩 会場運営委員



お祭りの準備中、鉄パイプが頭に落ちてきて怪我をいたしました(๑)

会 員 数	出席者数	出 席 率	前々回出席率修正
29名	16名	60.71%	な し

○事前メイクアップ

佐藤 貢 会員(地区RL1パート2)

・ニコニコBOX発表 内野 均 親睦委員長



 ニコニコBOX

- * 芳野隆宣様、神尾律彦様(議長東京青梅RC)⇒本日は宜しくお願い致します。
次年度にはなりますが、どうぞ宜しくお願い致します。
- * 宮崎正巳会長・山田義高幹事⇒東京青梅RCバスト会長
芳野隆宣様、神尾律彦様本日はようこそおいで下さいました。
今後の御指導、ご鞭撻宜しくお願い致します。
- * 比留間孝司会員⇒東京青梅RC芳野隆宣様、神尾律彦様
本日はようこそいらっしゃいました。
今後ともどうぞ宜しくお願い致します。
- * 倉内淳会員⇒青梅RC芳野様、神尾様ようこそいらっしゃいました。
来年度宜しくお願いします。
哲ちゃん、卓話頑張ってください！
- * 荒井孝育会員⇒芳野ガバナー補佐エレクト、神尾グループ
幹事エレクトようこそお越し下さいました。来期宜しくお願い致します。
倉内哲先生卓話楽しみにしております。

◆今回計15,000円 累計 426,000円

・会務報告 宮崎 正巳 会長



本日のガバナー公式訪問に向けて、確認事項をお伝えします。
まず今月は水曜日が5回ありますが、例会はすべて実施いたします。
また、例会運営方針やクラブ運営方針についても、今後のガバナー訪問に備えて共有します。
各発表者の役割は次の通りです：
発表項目・発表者
①クラブ行動計画・活性化策 会長
②例会の充実・工夫 倉内プログラム委員長
③クラブ成長・会員増強計画 荒井次年度会長
④クラブサイト更新と広報 波多野社会奉仕委員長
⑤定款・細則 山田幹事
⑥クラブ財政 坂本会計理事
⑦事務局雇用環境 田代直前会長
発表時間は各5～6分を目安に。
22日：リハーサル
29日：ガバナー補佐リハーサル
当日：公式訪問本番です。
発表は「足元を見つめ直す時間」として取り組んでください。

○ガバナー月信10月号

○『ロータリーの友』10月号のご紹介

○地域社会の経済発展月間リソースのご案内

○2/27～3/1 RYLAセミナー受講生推薦のお願い

○2026年台北国際大会のご案内資料
プログラムは以下の通りです。
(すべて台北ドームにて開催)

- 6月14日(日):開会式(午前・午後の2回)
- 6月15日(月):全体会議(午前)
- 6月16日(火):全体会議(午前)
- 6月17日(水):閉会式(午後)

○6/14ガバナーナイトパーティーのご案内

○11/23地区インターアクト行事『模擬国連』のご案内



・幹事報告 山田 義高 幹事



- 10月ロータリーレート1ドル149円
- 10月米山月間についての資料が届いております。
・豆辞典はメールBOXに入れてあります。
- 2024—25年度地区大会記録誌メールBOXに入れてあります。
- 特別養護老人ホームむさし村山苑施設長退任
及び就任のお知らせ

・委員会報告

- 比留間 一義 ゴルフ部長
- ・地区大会ゴルフ決勝は 11月1日水街道にて開催予定。
- ・現在4名エントリー。
- ・バス移動なし、現地集合予定。
前泊の可能性もあり。詳細は追って連絡します。



・卓 話

「株式会社クラウチ公表の歩み」

倉内 哲 会員

- 株式会社倉内工業の沿革と自身の経歴を紹介。
- 昭和22年創業(製紙業)→ 電機組立業へ転換。
- 大手電機メーカーとの取引拡大。
- 過去の台風被害復旧支援・電力会社との協力など。
- 新幹線関連装置(インバーター・コンバーター)組立への参入。
- 「人に恵まれた」「社員の努力で続けられた」と締めめの言葉。
- 息子(倉内太一郎氏)が取締役として後継。

皆さんこんにちは。本日は「株式会社クラウチ工業の歩み」というテーマでお話させていただきます。私の家業の歴史を通して、地域や仲間を支えられてきたことをお伝えできればと思います。

■創業のはじまり

まず当社の原点ですが、昭和22年(1947年)9月26日に、私の祖父が「倉内商店」として創業しました。戦後の混乱期、物資も乏しい中で、電気製品や部品の販売からスタートしました。その頃はまだ電気工事も限られた地域だけで、祖父がトラックに資材を積んで近隣を回っていたそうです。

■倉内工業への転換

昭和43年(1968年)、社名を「倉内工業」に改め、本格的に製造業へと転換します。これが現在の当社の礎となる出来事です。事業内容は「充電器の組立」と「配線作業」でした。当時はまだ機械化が進んでおらず、ほとんどが手作業。工場の仲間と一緒に、一本一本丁寧にケーブルをつないでいました。

■二代目社長・倉内隆の時代(昭和46年～)

昭和46年(1971年)、父・倉内隆が代表取締役就任しました。ここから会社は大きく方向転換をします。父は「これからは電力の時代だ」と言って、電力・エネルギー関連機器の分野に進出しました。東京電力関連の配電盤や制御盤の製作を始め、新幹線や鉄道向けの機器にも携わるようになりました。当時の工場は今のようには整備されておらず、鉄板を曲げる機械も古く、夜遅くまで火花を散らして溶接する日々でした。しかし、父は「お客様の信用を第一に」と言い続け、納期と品質を守ることを徹底しました。その姿勢が、後の発展につながったと思います。

■地域との関わり・社員との絆

私が幼い頃から覚えているのは、社員の皆さんとの距離の近さです。
父も母も、社員を“家族のように”扱っていました。
みんなで食事をしたり、正月には全員が工場に集まって餅つきをしたり。
そういう文化が会社を支えてきたと思います。
私自身も入社後、さまざまな現場を経験しました。
部品調達、組立、設計、営業…なんでもやりました。
大変な時期もありましたが、**「人に恵まれている」*
*というのが、常感じてきたことです。

■事業の多角化と技術発展

平成に入ると、事業内容も広がっていきます。
主力は引き続き電力関係ですが、自動制御盤・変圧器制御装置・コンバータユニットなど、
高電圧・高精度を求められる分野に対応するようになりまし
た。
特に新幹線関係では、JR東日本の関連装置の一部製造を担当しました。
そのときの現場は緊張の連続でしたが、納めた製品が日本中を走っていると思うと、誇りを感じました。

■三代目への継承

令和に入り、代表取締役を私の息子・倉内太一郎に譲りました。
若い世代の発想を取り入れて、これからの新しい時代に合わせた経営をしてほしいと思っています。
私は今も現場に顔を出しますが、次の世代がしっかりと動いているのを見ると安心します。
社員一人ひとりの力が会社をつくっている、という思いは変わりません。

■これからの目標と想い

これまで77年続いてきた会社です。
ここまで続けられたのは、取引先様、地域の皆さん、そして社員の支えがあったからこそです。
今後は、これまで培った技術を生かして、次世代エネルギー分野にも挑戦していきたいと思っています。
たとえば、再生可能エネルギーや地域電力の安定供給など、
「社会に貢献できるものづくり」を続けていくことが目標です。
最後に一言。
私は「会社は人なり」という言葉を信じています。
どんなに機械やAIが進歩しても、信頼と絆で成り立つのが仕事です。
本日はご静聴ありがとうございました。

<会員の感想>

- ・「地元企業としての誇りを感じた」
- ・「人を大切にする経営の姿勢が印象的」
- ・「三代にわたる発展の裏に努力と信頼があると感じた」

卓話後、拍手のうちに閉会。

参考資料紹介(宮崎 正巳 会長)

2011年に実施された「生業(なりわい)シリーズ」より、故・元 齊藤孝喜会員(株式会社天乃屋会長)の卓話「歌舞伎揚げと私の人生」を再紹介。
貧しい少年時代から上京し、「歌舞伎揚げ」を開発して会社を大きくした物語。
「信じた商品で勝負する姿勢」を学びの言葉として紹介されました。

・10/8(水)RLI PART II 東京開催

～国立オリンピック記念青少年総合センター～



佐藤貢地区RLI委員がRLIパートⅡにファシリテーターとして出席致しました。



◇ 創 立 1972年7月8日 ◇ 承 認 1972年7月20日
◇ スポンサークラブ 東京立川ロータリークラブ
◎ 会 長 宮崎 正巳 ◎ 幹 事 山田 義高
○ 副会長 荒井 孝育 ○ 副幹事 前川 優大
□ クラブ会報委員長 大野正士 副委員長 坂元洋幸
委員 比留間一義、遠藤友紀雄、薄井政光、比留間勝一、倉内哲(S)

東京武蔵村山ロータリークラブ
事務局/例会場 西武信用金庫村山支店2階
〒208-0004東京都武蔵村山市本町2丁目91-1
TEL:042-520-3251/FAX:042-520-3252
Eメール:t-mmrc@crest.ocn.ne.jp
●例会日:毎週水曜日 12:30～13:30